

授業科目	*公衆栄養学 I					実務家教員担当科目	○				
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	坂田 郁子										
授業概要	<p>公衆栄養学は栄養・食生活問題を社会的要因との関係を集団単位で捉え、栄養改善を通して公衆衛生の向上を図る実践科学であり、疾病・健康モニタリングから栄養政策までを包含する幅広い科目である。</p> <p>授業では、わが国の健康・栄養問題の現状と課題を知り、それらに対応した主要な栄養政策・施策について学ぶ。また、栄養関連法規、地域や集団の健康の保持・増進さらに疾病の予防に対する公衆栄養活動を効果的に行うために必要な知識と技術を修得するための講義を行う。</p> <p>本科目は実務家教員が担当し、行政における栄養管理の実際も含め概説する。</p>										
授業形態	対面授業	授業方法									
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> わが国の健康・栄養問題の現状と問題点を理解し、少子・高齢化における栄養課題を説明できる。(DP1-2, DP3-1) 健康状態および疾病・栄養状態、食物摂取、食行動等に関する資料やデータを収集し、説明できる。(DP1-2) 公衆栄養活動に必要なわが国の法律や制度並びに政策について説明できる。(DP4-1) 栄養疫学のための各種食事調査法および調査データ処理について説明できる。(DP1-2) <ol style="list-style-type: none"> 1) 関連法規を理解し、公衆栄養学とは何か説明できる。 2) わが国の健康・栄養問題の変遷を理解した上で、現状の問題点を説明できる。 3) わが国の栄養政策を説明できる。 										
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1) 健康状態および疾病・栄養状態、食物摂取、食行動等に関する資料やデータを収集し、アセスメントできる。 2) わが国の栄養施策を理解し、公衆栄養活動とは何か説明できる。 3) 社会経済状況や食環境の変化など社会の構造を理解し、栄養・食に関する課題解決に向けた方策を考えることができる。 										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）			備考					
試験			70%								
小テスト			10%								
レポート			20%								
発表（口頭、プレゼンテーション）			0								
レポート外の提出物			0								
その他			0								
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NT21901J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	

授業で説明された復習項目について整理する。

4

授業計画

第1回	テーマ：公衆栄養学の概念と公衆栄養活動 公衆栄養学の意義と目的、保健・医療・福祉・介護システムと公衆栄養活動について解説する。
第2回	テーマ：わが国の健康・栄養問題の現状と課題① 公衆栄養活動の変遷とさまざまな公衆栄養活動について解説する。
第3回	テーマ：わが国の健康・栄養問題の現状と課題② 栄養素等摂取状況、食品摂取状況の変遷について疾病構造の変化に関連づけて解説する。
第4回	テーマ：わが国の健康・栄養問題の現状と課題③ 食生活（食行動・食態度・食知識・食スキル）の変化と課題について解説する。
第5回	テーマ：わが国の栄養政策① 公衆栄養関連の主要な法律・制度、管理栄養士・栄養士の社会的役割について解説する。
第6回	テーマ：わが国の栄養政策② 地域における行政栄養士の業務と役割について解説する。
第7回	テーマ：わが国の健康づくり政策① 健康日本21における栄養・食生活の目標と課題及び地方計画及び食育推進基本計画について解説する。
第8回	テーマ：わが国の健康づくり政策② 健康づくりのための指針・ツールについて解説する。
第9回	テーマ：わが国の健康づくり政策③ 国民健康・栄養調査および食料需給について解説する。
第10回	テーマ：諸外国の健康・栄養の現状と健康・栄養政策 諸外国の健康・栄養問題と健康・栄養政策について解説する。
第11回	テーマ：日本人の食事摂取基準 食事摂取基準の活用について解説する。
第12回	テーマ：栄養疫学の概要 公衆栄養活動における栄養疫学の必要性と意義について解説する。
第13回	テーマ：栄養疫学のための食事調査 秤量法、24時間思い出し法、食物摂取頻度調査法など食事摂取量の測定方法について解説する
第14回	テーマ：公衆栄養統計のまとめ 栄養疫学のための調査データ処理について解説する。
第15回	テーマ：公衆栄養学Ⅰのまとめ 日本の栄養政策について解説する。
テキスト	「公衆栄養学 2025年版」酒井徹、由田克士編（医歯薬出版） 「管理栄養士・栄養士必携」公益社団法人日本栄養士会編（第一出版） 「日本人の食事摂取基準 2025年版」（第一出版） ※テキストは、授業外学習（予習・復習）にも活用する。

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>「国民衛生の動向」(厚生労働統計協会)</p> <p>「国民健康・栄養の現状」(第一出版)</p> <p>「厚生労働白書」(厚生労働省 編)</p> <p>「食育白書」(農林水産省 編)</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>予習・復習、小テスト、レポート課題は授業中に指示する、 小テストは採点後返却する。 レポートは採点後返却する。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>現代日本や世界における公衆栄養的な課題について興味、関心、疑問を持つこと。 3年次で学ぶ実践的な内容の基礎となる部分ですので、積極的な取組の姿勢が必要です。</p> <p>公衆栄養学1は栄養士・管理栄養士になるための基礎的な科目です。集団の健康の維持・増進と疾患の予防を図るもので、これまで学んできた公衆衛生学を基にしています。 日頃よりニュースや新聞などにより社会情勢に目を配り、食に関する問題に注目しておいてください。</p>

